

## 生き抜くための 智恵があります

ウメバチソウ（梅鉢草）は、日当たりのよい湿地などにみられる多年草です。秋になると花径2～3cmの梅のような白い花を茎の先端に1輪咲かせます。シンプルな5枚の花びらには繊細な模様があり、この柄が家紋の「梅鉢」に似ているところからウメバチソウの名が付いたようです。ちなみに菅原道真や前田利家の家紋は「梅鉢」です。

この花の特徴は2種類のおしべ（雄蕊）を持つことです。花の中央に5つある太くて白い部分が本来のおしべで、一見おしべのように見える細いもじゃもじゃしたものは、仮おしべ「仮雄蕊（かりゆうずい）」です。仮おしべは花粉を作りませんが、先端にある黄色い蜜のような部分で昆虫を呼び寄せ、本来のおしべが作る花粉を昆虫に運んでもらいます。この間めしべは成熟せず、本来のおしべは、めしべが成熟する前に退化してしまいます。1つの花でおしべとめしべの成熟時期をずらすことで、種の存続の危機につながることもある「自家受粉」を避けているのです。

植物は生き抜くためにさまざまな工夫をします。ウメバチソウの花言葉は「いじらしい」。そこにはいじらしさと「したたかさ」が同居しているようです。



森	の
日	記

## 昆虫教室

8月5日(日)



夏休み中の子どもたちが、昆虫愛好家の先生たちから虫の取り方や昆虫標本づくりのコツを学びました。夏休みの宿題はバッチリだったかな？

## 川の生き物教室

8月12日(日)

陶史の森やせせらぎ公園に流れる小川には、どんな「川の生き物」がいるのかな？暑い日だったから、小川の水が気持ち良かったね！



## 悲しいお知らせ

最年長ヒツジのメリーさんが8月24日、静かに息を引き取りました。享年13歳でした。ヒツジの寿命は10～12年。天国でのんびり遊んでください。

## 教室のご案内

## 10月

- 鳴く虫教室(要申込・定員20人)  
10月14日(日)9:00～11:30  
秋に鳴く虫を探し、音色を楽しむ
- きのこと教室(要申込・定員20人)  
10月21日(日)9:00～11:30  
食べられるキノコと毒キノコの見分け方
- バードウォッチング(自由参加)  
10月28日(日)9:00～11:30  
秋の野鳥を観察(雨天中止)

## 11月

- 葉っぱのしおりづくり教室(要申込・定員20人)  
11月4日(日)9:00～11:30  
秋の葉っぱを採集し、しおりを作る
- 秋の天体教室(要申込・定員20人)  
11月10日(土)18:30～21:00  
秋の星座の観察(雨天中止)
- バードウォッチング(自由参加)  
11月25日(日)9:00～11:30  
秋の野鳥を観察(雨天中止)